

# 2021年度 新代議員選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	抱負
1	旭 雄士	金沢脳神経外科病院 脳神経外科	脳神経外科医として頭痛外来をするようになり10年以上経過しました。当院は2020年に頭痛学会認定准教育施設となり、石川県唯一の教育施設となりました。このたび北陸の頭痛教育・啓発に貢献するために立候補させていただきました。私は機能的脳神経外科手術を専門に行っております。この分野の専門家は代議員に少なく、頭痛に対してニューロモデュレーション治療が応用される際にも是非お役に立ちたいと思っております。
2	安部 貴人	東海大学医学部内科学系 脳神経内科学	これまで大学病院、一般病院にて20年以上頭痛診療に従事してまいりました。所属施設においては創造性、研究マインドを重視し、積極的に学会発表を行うよう指導しております。頭痛診療の領域では近年新規薬剤の開発で医療水準が向上しておりますが、これをしっかり臨床に還元するとともに、これまでの経験を生かして微力ながら専門医の育成、本学会の発展に尽力して参りたく存じます。
3	石井 亮太郎	京都府立医科大学 脳神経内科	京都滋賀を中心に大学病院・地域中核病院・医療過疎地の三か所で頭痛診療を行ったのち、Mayo Clinic Arizonaにて2年間頭痛臨床研究を行ってまいりました。その経験を活かし日本の頭痛診療並び研究のさらなる発展を、皆さんと協力してすすめていけるよう精進する所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくおねがいたします。
4	柏谷 嘉宏	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科	2013年より富永病院脳神経内科に勤務し、他の職種の方々と共に頭痛診療を携わらせて頂いております。一次性頭痛では片頭痛および緊張型頭痛に加えTACSや運動時頭痛など、2次性頭痛では髄膜炎やRCVSなどの急性期疾患や頭頸部転移性腫瘍等の診断と治療に関わらせて頂きました。学術活動では院内の頭痛教室、HMSJ、2017年頭痛学会総会の運営に参加させて頂きました。今後も頭痛医学の発展に少しでも貢献できるよう努力いたします。
5	小泉 健三	東京歯科大学 市川総合病院 神経内科	私はこれまで、10代の若年層から生産年齢層のQOLを低下させ学業や労働活動に悪影響を及ぼす慢性頭痛や、重篤な頭蓋内疾患が潜んでいる二次性頭痛の診療に携わってきました。頭痛の症状は患者本人や時として医療者側にすら見過ごされたり、軽視されたりすることがあります。頭痛専門医として一人でも多くの患者さんが適切な治療を受けられるよう、医学生、若手医師を教育し、頭痛診療の重要性を啓発したいと思っています。
6	下村 英毅	兵庫医科大学 小児科学	私は、これまで子ども専門病院、大学病院を中心に小児、思春期の頭痛診療に従事してまいりました。その中でも特に起立性調節障害や神経発達症、不登校が共存した頭痛の診療に力を注いでまいりました。これまでの経験を活かし、特に小児、思春期の頭痛診療がさらに充実、発展するよう微力ながら貢献させて頂きたいと存じます。

# 2021年度 新代議員選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

No.	氏名	所属	抱負
7	滋賀 健介	松下記念病院 脳神経内科	クモ膜下出血の診断を見逃したというネガティブな体験と、慢性片頭痛や薬物乱用頭痛の患者さんの治療を支援できたというポジティブな体験が、私が頭痛診療をめざしたきっかけです。医学教育学分野での研鑽・実践を生かし、初期研修医や若手神経内科医の教育を通じて、頭痛診療の面白さを伝え、頭痛診療レベルの向上に少しでも尽力できればと考えております。
8	杉山 華子	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科・頭痛センター	現在の職場へ赴任して6年間、先達の指導をいただきながら数多くの頭痛症例の診療に携ってきました。前職まで睡眠医療を中心に脳機能を考察してきた経験は、機能的疾患という共通点もあって日々の臨床に生きております。今後も、両分野の病態生理学的な関連を追求しながら、頭痛医療の発展に貢献していければと思っております。
9	内藤 子来	大久保病院 産婦人科	わたくしはこれまでに産婦人科医として、頭痛学会で学んできました知識を通していろいろな年代の女性の頭痛の診療を行ってまいりました。臨床の場で得られました経験や知見などを産婦人科医という立場から本学会で発表し、今後の頭痛学会の発展の一助となれるように努力してまいります。
10	松浦 徹	自治医科大学 医学部 内科学講座 神経内科学部門	昨年小生は本学会の頭痛専門医資格を取得しまして、志を同じくする同僚と共に自治医科大学附属病院を教育施設として申請し受理されました。当施設の頭痛並びにその関連疾患に関する臨床・教育体制の一層の充実を図ると同時に研究にも取り掛かり、地域医療並びに本学会の活性化に寄与したいと思います。
11	宮原 淳一	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科・頭痛センター	富永病院頭痛センターで頭痛診療に携わり研鑽して参りました。また、頭痛教室や地域の頭痛研究会の運営にも参画しました。近年、新規片頭痛治療薬の登場など頭痛診療は進展していますが、社会の頭痛医療に対する認知度はまだまだ十分ではないのが現状です。微力ながら、わが国における頭痛医療の向上と、頭痛学会の発展に貢献させていただきたく立候補させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。
12	森 仁	倉敷中央病院 脳神経内科	頭痛専門医/指導医として、岡山県内での教育活動を行い、全国講演やyoutubeを通して全国へ頭痛診療の普及に努めました。てんかん専門医/指導医/評議員としての観点からも頭痛診療の普及を行い、てんかんと頭痛の両学会を結ぶ使命を全うします。諸先生方(竹島先生、橋本先生、荒木先生、門前先生、高尾先生、溝渕先生、光藤先生、敬称略)との出会いを大切に、私だからできることをします。お力をお貸し下さい。